

FileMaker Server 17の 新機能と改善点

2018/06/14

INTER-Mediator勉強会2018-#4

松尾篤（株式会社エミック）

Agenda

- FileMaker Server と INTER-Mediator
- FileMaker Server 17 の新機能と改善点
- FileMaker Server 17 の変更点

FileMaker Server と INTER-Mediator

FileMaker Server



FileMaker Server

- FileMakerベースのカスタム Appでデータを共有するために使用されるサーバーソフトウェア
- バックアップ機能を標準搭載
- SSL/TLSに対応、OAuth、Open Directory およびActive Directoryを使用した認証やWeb公開機能等も利用可能

さまざまな共有方法

- FileMaker Pro／FileMaker Goで接続
- Webブラウザーで接続
- ODBC／JDBC経由で



INTER-Mediator

- INTER-Mediatorは現在FileMaker ServerのCWP（カスタムWeb公開）を使用
- FileMaker Server 17でもCWPは引き続き利用可能
- CWPはfmsadminコマンドで有効化

カスタムWebの有効化

- `fmsadmin enable wpe`
- `fmsadmin start wpe`
- `fmsadmin set cwpconfig enablephp=true`
- `fmsadmin set cwpconfig enablexml=true`
- `fmsadmin restart httpserver -y`

mbstringの有効化

- Windows Serverではphp.iniを編集後にIISを再起動
 - [変更前] ;extension=php_mbstring.dll
 - [変更後] extension=php_mbstring.dll
- <http://inter-mediator.info/ja/for-developers/db.html>

FileMaker Server 17 の新機能と改善点

刷新されたAdmin Console



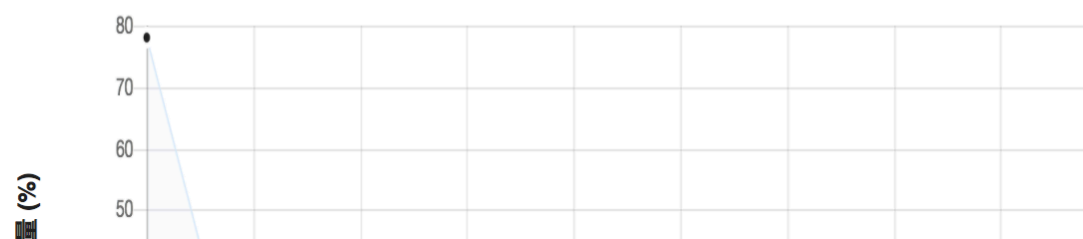
ボリューム状態



残りの空き領域
40.3 GB

使用領域合計
208.7 GB / 248.9

システム使用状況



FileMaker Data APIが正式版に

- FileMaker Server 16ではトライアル版であったFileMaker Data APIが正式版に
- 1ライセンスあたり年間24GBバンドル
- 例：5ユーザライセンスの場合は年間120GBまで利用可能（追加購入可）

FileMaker Data APIの機能強化

- オブジェクトフィールドへのファイルのアップロードをサポート
- FileMakerスクリプトの実行をサポート
- `layout.response` 引数を使用して結果レイアウトを指定できるように

バックアップオプションの追加

- Admin Consoleで [今すぐバックアップ] もしくは [バックアップを保存] をクリックすると保存済みバックアップに
- 保存済みバックアップは自動的に削除されない

バックアップオプションの追加

FileMaker Server 17

2018年6月14日 木曜日 2:26 サーバー



[サインアウト](#)

[ダッシュボード](#)

[データベース](#)

[バックアップ](#)

[構成](#)

[コネクタ](#)

[管理](#)

バックアップ

バックアップは [次のバックアップ] に従って 1 日 1 回実行されます。バックアップは 7 個まで保存され、その後自動的に削除されます。保存済みバックアップは削除されません。[今すぐバックアップ] で今すぐバックアップを実行し、[自動バックアップおよびオンデマンド] タブでバックアップを保存し、[保存済み] タブでバックアップを削除できます。

バックアップスケジュール

毎日午前 0 時

次のバックアップ

2018/06/15 0:00

プログレッシブバックアップ ?

無効

[変更](#)

[今すぐバックアップ](#)

自動バックアップおよびオンデマンド

[バックアップを保存](#)

[ラベルを編集](#)

☐ フォルダ名	時刻	ラベル ?	保存済み ?
☒ FMS_2018-06-14_0000	2時間前	自動バックアップ	
☐ FMS_2018-06-13_2322	3時間前	オンデマンド	☒
☐ FMS_2018-06-02_0000	12日前	自動バックアップ	☒
☐ FMS_2018-05-27_0000	18日前	自動バックアップ	

表示中 4 / 4

自動バックアップおよびオンデマンド (4)

保存済み (2)

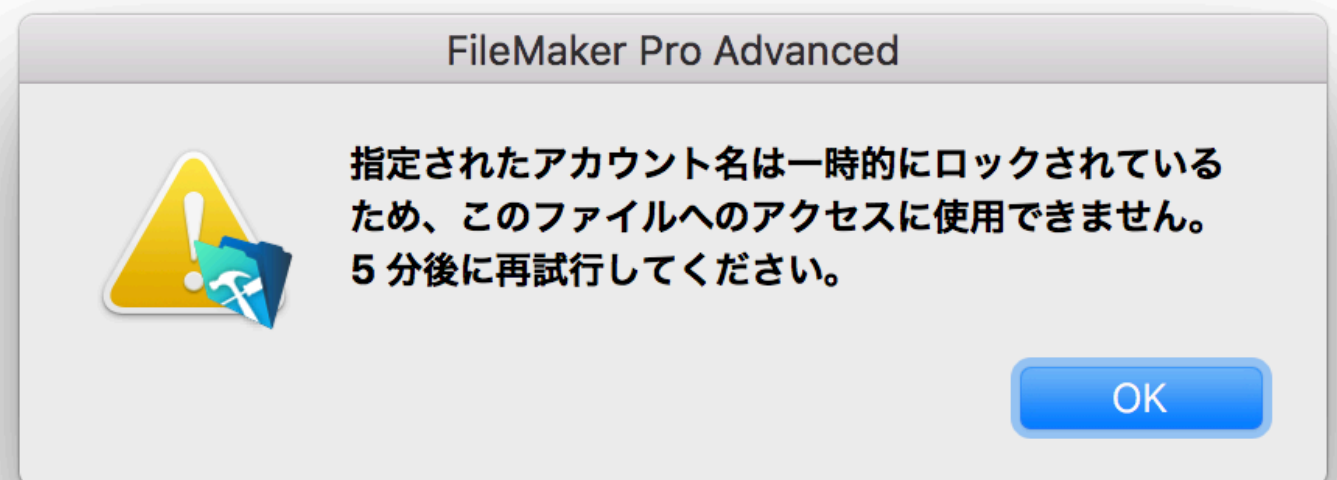
バックアップスケジュール (2)

セキュアデータベースフォルダ

- パスワードで保護かつ暗号化されたファイルのみをホストするための専用フォルダが新設
- フォルダ名：Secure
- 暗号化されていないファイルをアップロードしたりホストすることは不可

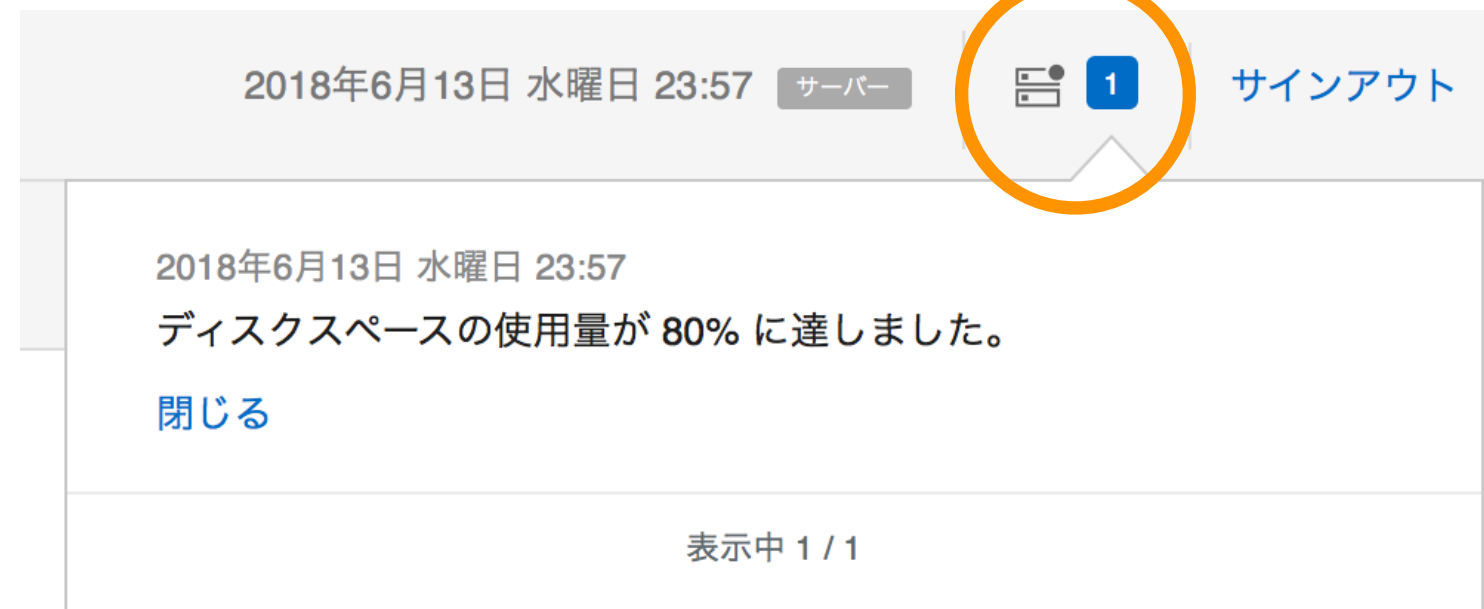
アカウントのロックアウト

- 共有ファイルへのサインインを試行して数分以内に複数回失敗すると一時的にアカウントがロックされる
- 総当たり攻撃や辞書攻撃からカスタムAppを保護



新しい通知オプション

- Admin Console 通知
- [サインアウト] の左にあるボタン
で確認できる



新しい通知オプション

- ローカル通知
- Admin Consoleを実行しているマシン
上で表示される



fmsadmin コマンドの 新しいコマンド

- fmsadmin get
 - fmsadmin get cwpconfig
 - fmsadmin get serverconfig
- fmsadmin set

fmsadmin コマンドの 新しいオプション

- Stats.log 関連
 - fmsadmin enable serverstats
 - fmsadmin disable serverstats

FileMaker Admin API (Trial)

- FileMaker Serverを管理するためのRESTベースのAPIをトライアル版として提供
- トライアル期間は2019年9月27日まで

FileMaker Server 17 の変更点

ボリュームライセンス

- ボリュームライセンスは以下の3種類に
 - FileMaker ユーザライセンス
 - FileMaker 同時接続ライセンス
 - FileMaker サイトライセンス

FileMaker ユーザライセンス

- FileMaker Serverを3台インストール可能
- 年間ライセンスであれば3台のうち1台をFileMaker CloudにBYOLとして持ち込み可能

システム条件の変更点

- Windows Server 2008 R2 SP1 Standard EditionおよびEnterprise Editionはサポート対象外
- OS X El Capitan v10.11はサポート対象外

クライアントとの互換性

- FileMaker Pro、FileMaker Pro AdvancedおよびFileMaker Goのバージョン14からFileMaker Server 17には接続不可

展開アシスタントが不要に

- インストーラーと展開アシスタントが統合
- Admin Console初回ログイン時にSSLサーバー証明書をインポートするかSSLを使用しないかの確認ページが表示される

展開アシスタントが不要に

FileMaker Server 17

セキュリティ設定

FileMaker Server とクライアント間で渡されるデータを SSL テクノロジーで暗号化します。SSL 証明書は証明機関 (CA) から提供されるデータファイルで、安全なトランザクションについて送信者、受信者、またはその両者をデジタル方式で識別します。クライアントが共有データにインターネット経由でアクセスしている場合は、SSL 暗号化が特に重要になります。暗号化を使用しない場合、ネットワークを監視しているソフトウェアによってデータが閲覧される可能性があります。

-
- ☒ 証明機関から受信した SSL 証明書をインポートする [?](#)
- ☐ SSL 証明書を使用しない

サポートされている証明機関から提供されたカスタム SSL
がある場合は、SSL 証明書をインポートしてください。

証明書のインポート

保存

SSL/TLS関連の変更点

- SSL利用時にHSTS（HTTP Strict Transport Security）が常に有効に
- [Web クライアントに HSTS を使用する] オプションは廃止

fmsadminコマンドを使用

(Admin Consoleから取り除かれた設定・機能)

- カスタムWeb公開機能の有効・無効化
 - `fmsadmin set cwpconfig`

fmsadminコマンドを使用

(Admin Consoleから取り除かれた設定・機能)

- パスワードで保護されたデータベースのみホスト
- ログファイルのサイズ制限
- サーバーの使用状況ログファイル (Stats.log) の保存

fmsadminコマンドを使用

(Admin Consoleから取り除かれた設定・機能)

- FileMaker Proクライアント接続の最大数
- スクリプト同時セッション最大数
- CSRの作成 (SSLサーバー証明書の発行
手続きに必要)

fmsadminコマンドを使用

(Admin Consoleから取り除かれた設定・機能)

- 使用状況の収集間隔
- データベースキャッシュに予約されているRAM
- プログレッシブバックアップの保存間隔

廃止された機能

- スタンバイサーバー
- 管理者グループ (Admin Console)
- 代替ポート番号の指定

廃止された機能

- ランタイムソリューション用ファイル
拡張子の指定 (Admin Console)
- テクノロジーテストページ

fmsadmin コマンドで削除された コマンドとオプション

- fmsadmin standby
- -j (--hint)
 - fmsadmin resetpw のオプション

その他の変更点

- 詳細はFileMaker ナレッジベースを参照

FileMaker 17 プラットフォームのその他の変更 <<https://support.filemaker.com/s/answer/view?language=ja&anum=000026010>>

まとめ

関連URL

- FileMaker Server 17 ヘルプ

<https://fmhelp.filemaker.com/help/17/fms/ja/>

関連URL

- FileMaker プロダクト ドキュメンテーション

<https://www.filemaker.com/jp/support/product/documentation.html>

- FileMaker ナレッジベース

<https://support.filemaker.com/s/?language=ja>

関連URL

- ファイルメーカー社YouTube公式チャンネル

<https://www.youtube.com/user/filemakerjapan>

まとめ

- FileMaker Server 17でもカスタムWeb公開機能は引き続き利用可能
- INTER-MediatorはFileMaker Server 17をサポート（CWPを使用）
- INTER-Mediatorは将来のバージョンで正式版のFileMaker Data APIに対応予定